

Title	学会発表
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1996
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.41 (1996.) ,p.38- 54
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000041-0038

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学 会 発 表

大河内江里子, 稲見圭子, 望月正隆. シトクロム P450 モデル系による変異原物質の代謝活性化. 日本癌学会第54回総会, 京都, 1995年10月3日 (発表要旨集 p82)

村上博子, 時野香里, 望月正隆. *N*-ニトロソ化合物のアルキル化における標的塩基配列と修復機構. 日本癌学会第54回総会, 京都, 1995年10月3日 (発表要旨集 p80)

時野香里, 松下洋久, 大野忠夫, 望月正隆. ヒト白血病細胞系における γ 線照射の感受性と p53 遺伝子変異との関連. 日本癌学会第54回総会, 京都, 1995年10月5日 (発表要旨集 p301)

小西知江子, 望月正隆, 黒木登志夫, 許 南浩. *O*-アルキル付加体の非アイソトープ微量定量法の開発. 日本癌学会第54回総会, 京都, 1995年10月3日 (発表要旨集 p81)

望月正隆, 稲見圭子, 岡澤美貴子, 大河内江里子. 化学発がん物質の代謝活性化におけるシトクロム P450 化学モデル系の有用性. 日本環境変異原学会第24回大会, 大阪, 1995年11月21日 (発表要旨集 p108)

石川さと子, 脇阪紀子, 望月正隆. クロロアルキル基を有する α -アセトキシニトロサミンの変異原性に及ぼす DNA 修復系の効果. 日本環境変異原学会第24回大会, 大阪, 1995年11月22日 (発表要旨集 p151)

堤のぞみ, 増水章季, 望月正隆. *N*-ニトロソジアルキルアミンと活性酸素との反応による一酸化窒素の発生と突然変異原性の発現. 日本環境変異原学会第24回大会, 大阪, 1995年11月20日 (発表要旨集 p79)

稲見圭子, 寺内倫恵, 望月正隆. アルキルヒドラゾン酸素化生成物からの活性酸素発生と変異原性発現機構. 日本環境変異原学会第24回大会, 大阪, 1995年11月22日 (発表要旨集 p146)

村松由起子, 村上博子, 望月正隆. サルモネラ株を用いた *N*-ニトロソアルキル尿素の酢酸緩衝液による変異原性抑制と除去修復との関連. 日本環境変異原学会第24回大会, 大阪, 1995年11月22日 (発表要旨集 p149)

堤のぞみ, 増水章季, 望月正隆. 活性酸素による *N*-ニトロソジアルキルアミンからの変異原性化合物の生成. 第9回生体フリーラジカル研究会, 東京, 1995年12月16日

石川さと子, 望月正隆. ω -クロロアルキル- α -アセトキシメチルニトロサミンの変異原性発現に対する alkyltransferase 遺伝子の関与. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 3 p118)

堤のぞみ, 望月正隆, 増水章季. *N*-ニトロソジアルキルアミンの活性酸素による分解と変異原性化合物の生成. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p135)

王 力青, 望月正隆. 抗酸化剤としてのアスコルビン酸類縁化合物の合成. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p18)

保坂まひな, 国田佳奈, 望月正隆. 複素環構造を含む新規クロスリンク剤の合成と生物活性. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 2 p74)

脇阪紀子, 岡村和枝, 望月正隆. 新規インターカレートクロスリンク剤の合成と生物活性. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月29日 (発表要旨集 2 p125)

稲見圭子, 大河内江里子, 望月正隆. シトクロム P450 化学モデル系を用いた発がん物質の活性化. 日本癌学会第55回総会, 横浜, 1996年10月10日 (発表要旨集 p240)

時野香里, 松下洋久, 大野忠夫, 望月正隆. ヒト白血病細胞における DNA 損傷に伴う p53 誘導と細胞周期停止の関連. 日本癌学会第55回総会, 横浜, 1996年10月12日 (発表要旨集 p401)

宮本知枝, 青木いづみ, 桜井良江, 永田佳子, 松島美一, 松本茂信. 水溶液中での α -トコフェロールの酸素酸化反応. 第7回ビタミンE研究会, 浜松, 1995年12月10日 (発表要旨集 p23)

宮田千鶴子, 石田恵可, 坂井陽子, 金沢秀子, 松島美一, 浦野四郎. HPLC-ECD を用いた生体中のトコフェロールおよびその酸化生成物の測定. 第7回ビタミンE研究会, 浜松, 1995年12月10日 (発表要旨集 p29)

Ozawa T, Ueda J, **Matsushima Y**. Reactions of some copper (II) -oligopeptide complexes with active oxygen species —ESR spin trapping studies—. 1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu, USA, Dec. 17, 1995 (Abstract Inorganic 0720)

Kikuchi K, Sakurai Y, Okano T, **Kanazawa H**, **Yamamoto K**, **Kashiwase Y**, **Matsushima Y**, Takai N. Temperature-modulated surface property changes for novel hydrophobic chromatography. The 5th Symposium on Intelligent Materials & The UK-Japan Seminar on Intelligent Materials, Tokyo, March, 21, 1996 (Abstract p61-63)

栗林美枝, **松島美一**, 篠塚則子, 高井信治. 4電極電気化学検出器を用いたHPLCによる水中フェノール類の分析. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集4 p132)

長塚智美, **金沢秀子**, **松島美一**. HPLC-蛍光検出法によるペプチドの高感度分析. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集4 p139)

内田奈穂美, **永田佳子**, **牧野敏江**, **松山尚子**, **松島美一**. ピリドキサール酵素モデル、非金属キレートキノイド中間体. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集4 p189)

高田二郎, 花田重信, 松永和久, 加留部善晴, **松島美一**. Vitamin K1 hydroquinone prodrugのwarfarin中毒ラットにおける体内動態及び血液凝固活性. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集4 p42)

金沢秀子, **近藤知樹**, **柏瀬友紀**, **松島美一**, 高井信治, 菊池明彦, 桜井靖久, 岡野光夫. 温度応答性高分子を用いた新規クロマトグラフィーシステムの開発. '96日本MRSシンポジウム, 千葉, 1996年5月22日 (発表要旨集 p77)

松島美一, **宮本知枝**, **永田佳子**. α -トコフェロール水溶液の金属イオン触媒酸素酸化. 第8回金属の関与する生体関連反応シンポジウム, 広島, 1996年5月30日 (発表要旨集 p22)

Kanazawa H, **Kashiwase Y**, **Kondo T**, **Matsushima Y**, Takai N, Kikuchi A, Sakurai Y, Okano T. Development of temperature-responsive chromatographic system using N-isopropylacrylamide copolymers modified silica. 20th International Symposium on High Performance Liquid Chromatography and Related Techniques, San Francisco, USA, June, 16, 1996 (Abstract p174)

Nagatsuka T, Kanazawa H, Matsushima Y. High-performance liquid chromatographic determination of peptides by laser-induced fluorescence detection. 20th International Symposium on High Performance Liquid Chromatography and Related Techniques, San Francisco, USA, June, 16, 1996 (Abstract p258)

Miyata C, Mashige F, Ohkubo A, Nakahara K, Takai N, Kanazawa H, Matsushima Y. High performance liquid chromatographic determination of catecholamine, their basic metabolites and serotonin in urine using a mixed mode column and an eight-channel electrochemical detector. 20th International Symposium on High Performance Liquid Chromatography and Related Techniques, San Francisco, USA, June, 16, 1996 (Abstract p118)

Kanazawa H, Kashiwase Y, Kondo T, Matsushima Y, Takai N, Kikuchi A, Sakurai Y, Okano T. Analysis of peptides by temperature-responsive chromatographic system using N-isopropylacrylamide copolymer modified column. 7th International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Analysis, Osaka, Aug, 20, 1996 (Abstract p142)

Nagatsuka T, Kanazawa H, Matsushima Y. Highly sensitive determination of peptides by high-performance liquid chromatography with laser-induced fluorescence detection. 7th International Symposium on Pharmaceutical and Biomedical Analysis, Osaka, Aug, 20, 1996 (Abstract p143)

金沢秀子. 機能性高分子充填剤を用いた温度応答性クロマトグラフィー. 液体クロマトグラフ研究会, 新解析技術研究会合同第2回研修会招待講演, 京都, 1996年8月26日 (講演要旨集 p61)

小西世志子, 金沢秀子, 松島美一, 高橋利明. LC/MS・脱塩システムを用いた鎮静・麻酔薬の分析. 日本分析化学会第45年会, 仙台, 1996年9月19日 (発表要旨集 p119)

砂本達郎, 松島美一, 近藤知樹, 金沢秀子, 高井信治, 菊池明彦, 岡野光夫. 機能性高分子修飾充填剤を用いた温度応答性クロマトグラフィー. 日本分析化学会第45年会, 仙台, 1996年9月19日 (発表要旨集 p119)

菊池明彦, 桜井靖久, 岡野光夫, 金沢秀子, 山本一夫, 柏瀬友紀, 松島美一, 高井信治. 温度に应答して親水性・疎水性を変化させる表面を用いた新規水系クロマトグラフィー. 第45回高分子討論会, 広島, 1996年10月1日 (発表要旨集 p2912)

宮田千鶴子, 長尾由香, 金沢秀子, 松島美一, 浦野四郎. 高速液体クロマトグラフィー・電気化学検出器による抗酸化物質の分離定量. 第13回イオンクロマトグラフィー討論会, 新潟, 1996年10月31日 (発表要旨集 p8)

権田良子, 竹田忠紘, 荻原幸夫. メキシコ産薬用植物 *Calocarpum sapota* の成分研究. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3月27日 (発表要旨集 2 p149)

松田明乃, 松本 司, 清原寛章, 山田陽城, 竹田忠紘. 人参養榮湯の免疫調節作用成分の解明. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3月27日 (発表要旨集 2 p191)

金光卓也, 水上 元, 荻原幸夫, 竹田忠紘, 清水訓子, 白石友紀, 一瀬勇規, 松原真知子. 植物防御応答に関する糖ペプチドの合成研究 (V). 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3月27日 (発表要旨集 2 p196)

竹田忠紘, 佐藤由紀子, 清水訓子, 権田良子, 大原直子, 松田明乃, 山田陽城. 漢方方剤の免疫調節作用の解明. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3月27日 (発表要旨集 2 p211)

近藤俊哉, 水上 元, 荻原幸夫, 竹田忠紘. 日本産キカラスウリより得られる高塩基性蛋白質の研究 第 4 報 アミノ酸配列と生理活性. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3月27日 (発表要旨集 2 p235)

金光卓也, 竹田忠紘, 清水訓子, 馬越智子, 白石友紀, 一瀬勇規, 松原真知子, 荻原幸夫. 植物防御応答に関与する糖ペプチドの合成と活性について. 第18回糖質シンポジウム, 東京, 1996年 8月19日 (発表要旨集 p67)

成川佑次, 松本奈佳子, 竹田忠紘. 抗酸化活性を指標とした生薬成分の検索. 日本生薬学会第43回年会, 東京, 1996年 9月 4日 (発表要旨集 p231)

Sun P, Chen Y, Takeda T. Studies on the constituents of *Epimedium koreanum* NAKAI. 日本生薬学会第43回年会, 東京, 1996年9月4日 (発表要旨集 p244)

金光卓也, 荻原幸夫, 白石友紀, 一瀬勇規, 馬越智子, 清水訓子, 竹田忠紘. 植物防御応答に関与する糖ペプチドの合成と活性について. 日本生薬学会第43回年会, 東京, 1996年 9月 4日 (発表要旨集 p245)

木場範章, 竹田忠紘, 金光卓也, 一瀬勇規, 山田哲治, 白石友紀. エンドウの防御応答に対する合成モデルエリシターの影響. 日本植物病理学会, 山口, 1996年10月11日 (発表要旨集 p161)

竹田忠紘. 複合糖質を素材とした糖鎖のモデル合成とその生物活性. 文部省科学研究費補助金重点領域研究第4回公開シンポジウム, 大阪, 1996年6月12日 (発表要旨集 p14)

菅家甫子. 創薬を進め医療薬学を考える: 医療薬学の推進のために. 第5回日仏薬学会シンポジウム, 東京, 1995年10月7日 (要旨集 p5)

横堀貴子, 吉山友二, 中沢寛仁, 八木知子, 金子明子, 菅家甫子, 藤江忠雄, 景山 茂. 電気化学検出 HPLC 法によるメトフォルミン血中濃度測定法に関する研究. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (講演要旨集 4 p242)

吉山友二, 菅家甫子, 杉山 隆, 宮崎博之, 斎藤嘉鶴, 島田英世. 代替実験動物を用いた薬物相互作用に関する研究. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月28日 (講演要旨集 4 p272)

吉山友二, 八木知子, 菅家甫子, 小林輝明. イセパマイシン時間腎毒性に及ぼす抗生物質併用効果. 第44回日本化学療法学会総会, 鹿児島, 1996年6月1日 (講演要旨集 p113)

吉山友二. 医療薬学教育の現状. 第64回医療情報解析研究会, 東京, 1996年6月3日 (要旨集 p15)

横堀貴子, 吉山友二, 八木知子, 金子明子, 菅家甫子, 藤江忠雄, 景山 茂. 電気化学検出 HPLC 法によるピグアナイド剤血中濃度測定法に関する検討. 第13回日本 TDM 学会・学術大会, 東京, 1996年6月8日 (要旨集 p26)

八木知子, 吉山友二, 桜井節子, 菅家甫子, Denis Beauchamp, Michel G. Bergeron. ニューキノロン系抗菌薬によるアミノグリコシド系抗生物質腎毒性の軽減効果. 第6回クリニカルファーマシーシンポジウム, 長崎, 1996年6月27日 (講演要旨集 p122-123)

菅家甫子. アメリカの薬学教育と日本の薬科学教育志向. 第6回クリニカルファーマシーシンポジウム, 長崎, 1996年6月28日 (講演要旨集 p86-87)

川島紘一郎, 藤井健志, 山田 新, 田島園子, 藤本和子, 鈴木岳之. 免疫刺激によるT細胞系白血病細胞株におけるアセチルコリン産生能の増大. 第48回日本薬理学会西南部会, 沖縄, 1995年11月10日

Fujii T, Tsuchiya T, Yamada S, Fujimoto K, Suzuki T, Kawashima K. Acetylcholine and its synthesizing enzyme(s) in human leukemic T-cell lines. 25th Annual Meeting Society of Neuroscience, San Diego California, USA, Nov 12, 1995 (Abstract No. 35. 13)

藤井健志, 山田 新, 三澤日出巳, 田島園子, 藤本和子, 鈴木岳之, 笠原 忠, 川島紘一郎. Tリンパ球におけるコリンアセチルトランスフェラーゼの遺伝子発現と活性調節. 第8回日本神経免疫研究学術集会, 東京, 1996年1月25日 (神経免疫学 4 (1), 82-83, 1996)

山口則和, 藤井健志, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. 食塩負荷の一酸化窒素 (NO) を介する血圧調節におよぼす影響. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 320, 1996)

中島康夫, 中井克彦, 藤井健志, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. コリンエステラーゼ阻害薬存在下と非存在下におけるラット海馬からのアセチルコリン回収量に及ぼすカルシウム濃度の影響. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 273, 1996)

藤井健志, 山田 新, 田島園子, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. 免疫刺激によるTリンパ球活性化とアセチルコリン産生量の変化. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 301, 1996)

山田 新, 藤井健志, 三澤日出巳, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. コリンアセチルトランスフェラーゼ mRNA のTリンパ球における特異的発現. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 301, 1996)

田島園子, 山田 新, 藤井健志, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. ヒトT細胞系白血病株におけるアセチルコリン合成酵素の酵素学的特性の検討. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 301, 1996)

中井克彦, 藤井健志, 藤本和子, 鈴木岳之, 川島紘一郎. リチウム (Li) 慢性投与のラット海馬におけるセロトニン (5-HT) 1A 受容体を介するアセチルコリン (ACh) 遊離に及ぼす影響. 第69回日本薬理学会年会, 長崎, 1996年3月20~23日 (JJ Pharmacol 71, Suppl I 273, 1996)

本田満則, 鈴木岳之, 藤本和子, 川島紘一郎. マウス中隔野由来細胞株 SN49 のコリン作動性神経モデルとしての検討. 第94回日本薬理学会関東部会, 東京, 1996年6月8日 (発表要旨集 p37)

Kawashima K, Fujii T, Misawa H, Yamada S, Tajima S, Suzuki T, Fujimoto K, Kasahara T. Presence and synthesis of acetylcholine in the blood. 11th General Meeting of the European Society for Neurochemistry, Groningen, The Netherlands, June 19, 1996

鈴木岳之, 川島紘一郎. Characterization of cholinergic nerve properties of SN49, a neuronal cell line derived from mouse septum. 第19回日本神経科学大会, 兵庫, 1996年7月11~13日 (Abstract No. 1238)

藤井健志, 三澤日出巳, 川島紘一郎. 免疫刺激による T リンパ球におけるコリンアセチルトランスフェラーゼ mRNA の誘導. 第19回日本神経科学大会, 兵庫, 1996年7月11~13日 (Abstract No. 1010)

田島園子, 藤井健志, 山田 新, 川島紘一郎. ラット胸腺におけるアセチルコリン合成酵素の酵素学的特性の検討および mRNA の検出. 第95回日本薬理学会関東部会, 神奈川, 1996年10月5日 (発表要旨集 p47)

Fujimoto Y, Yuri M, Hara N, Hagiwara C, Kobayashi N, Morisaki M. Stereochemistry of β -Oxidation Reaction in Cholic Acid Biosynthesis. 1995 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Honolulu, 1995年12月19日 (発表要旨集 BIOS220)

小林典子, 森崎益雄, 由利正利, 藤本善徳. 胆汁酸の生合成: 培養細胞における胆汁酸生合成中間体のコール酸への変換. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p169)

山田純子, 八木知子, 森崎益雄, 藤本善徳. *Ajuga reptans* var. *atropurpurea* の毛状根におけるエクジステロイド類の生合成 (4). 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p170)

中川隆義, 藤本善徳, 森崎益雄. *Ajuga reptans* var. *atropurpurea* の毛状根におけるエクジステロイド類の生合成 (5). 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p170)

No. 41 (1996)

佐藤真子, 藤本善徳, 山田純子, 森崎益雄, 岩井圭介, 浜田博喜. 植物ステロール側鎖生合成における $\Delta^{24(25)}$ -オレフィン中間体について. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 2 p170)

高橋恭子, 松島奈々, 城谷真理, 小林典子, 森崎益雄. コレステロール生合成阻害剤トリパラノールの合成、光学分割とその生物活性. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 2 p255)

本間義夫, 村瀬裕子, 繁田恵子. Kurie plot の非直線性について. 第39回放射化学討論会, 新潟, 1995年10月3日 (発表要旨集 p217)

村瀬裕子, 村上 勲, 本間義夫, 井口陽世, 渋谷美聡. 放射線防御酵素 SOD (Superoxide dismutase) の酵素活性とその金属含有量について. 第40回放射化学討論会, 和光, 1996年10月22日 (発表要旨集 p56)

本間義夫, 村瀬裕子, 繁田恵子. クーロン障壁透過率から計算される α 放射体の半減期について. 第40回放射化学討論会, 和光, 1996年10月24日 (発表要旨集 p280)

内田ゆりジュリエッタ, 笠原 忠, 石井 明, 向田直史. ヒト末梢血好中球による熱帯熱マラリア増殖抑制と IL-8 の産生. 第25回日本免疫学会, 福岡, 1995年11月28日 (発表要旨集 p126)

益山純一, 笠原 忠, 北川誠一, 狩野庄吾. In Vitro 血管モデルにおける血管外遊走性単球の IL-8 産生と血管内皮細胞接着の役割. 第25回日本免疫学会, 福岡, 1995年11月28日 (発表要旨集 p151)

宮増美里, 平井浩一, 泉 信有, 三崎義堅, 高石敏昭, 森田 寛, 伊藤幸治, 高橋裕一, 松島綱治, 笠原 忠. 走化性因子による好酸球 chemokine 産生. 第25回日本免疫学会, 福岡, 1995年11月28日 (発表要旨集 p174)

笠原 忠, 小田泰子, 園田よし子. ヒトグリオーマ細胞株からの炎症性サイトカイン産生誘導とその制御. ヒューマンサイエンス振興財団研究発表, 東京, 1996年3月8日 (抄録集, III-6, 1996)

園田よしこ, 笠原 忠, 稲葉千恵子, 里川智恵, 芳賀優子, 田邊由紀. HL-60におけるオカダ酸およびバナデートの IL-8 産生誘導. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3 月27日 (発表要旨集 3 p76)

小田泰子, 野沢郁子, 宮根裕子, 笠原 忠. グリオーマ細胞とマクロファージの接着による炎症性サイトカインの誘導とその制御. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3 月29日 (発表要旨集 3 p157)

鈴木和博, **永石恵子**, 山口照秀, 川西徹, 最上知子, **笠原 忠**, 早川堯夫, 高橋 惇. 白血球の活性化とコフィリンの動態. 第 26 回日本生化学会, 札幌, 1996年 8 月27日 (発表要旨集 p861)

Takahashi Y, **Kasahara T**, Sawai T, Mukaida N, Matsushima K, Sasaki T. IL-8 and monocyte chemotactic and activating factor in the synovium at an early and active phase of RA. 8th APLAR Congress of Rheumatology, Melbourne, Australia, April 26, 1996

Kasahara T, Oda T, Mukaida N. Induction and regulation of IL-8 production by human glioblastoma cell lines in coculture with monocytes or monocytic cell lines. 5th Intl' Symp. of Mol. Cell. Biol. of Macrophages '96, Tokushima, May 16, 1996 (Abstract p1)

森岡依子, 田村悦臣, 松井道夫. キメラ酵素を用いたラット肝 hydroxysteroid sulfotransferase の基質特異性決定領域の同定. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3 月27日 (発表要旨集 3 p19)

臼井俊博, 田村悦臣, 松井道夫. ラット肝臓 phenol-sulfotransferase の活性に関するアミノ酸残基の研究. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3 月27日 (発表要旨集 3 p19)

田村悦臣, 稲生奈央子, 原田由紀, 松井道夫, 本間 浩, 宮脇敦史, 御子柴克彦. マウス嗅覚器に存在する硫酸転移酵素の性質とその局在性. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年 3 月29日 (発表要旨集 3 p52)

原田由紀, 田村悦臣, 松井道夫, 本間 浩, 宮脇敦史, 御子柴克彦. マウス嗅覚器の硫酸転移酵素の活性と発現様式. 第67回日本生化学会大会, 第19回日本分子生物学会年会合同年会, 札幌, 1996年 8 月26日 (発表要旨集 p713)

田村悦臣, 松井道夫. ラット hydroxysteroid sulfotransferase ST-20, ST-40 の発現制御は異なる. 第67回日本生化学会大会, 第19回日本分子生物学会年会合同年会, 札幌, 1996年8月27日 (発表要旨集 p889)

松井道夫, 田村悦臣, 本間 浩, 三輪有子. Triethylamine 及び基質による硫酸転移酵素の阻害様式. 第67回日本生化学会大会, 第19回日本分子生物学会年会合同年会, 札幌, 1996年8月27日 (発表要旨集 p889)

中村敬志, 松井道夫, 田村悦臣, 本間 浩. ラット肝フェノール硫酸転移酵素の肝臓内局在性. 第67回日本生化学会大会, 第19回日本分子生物学会年会合同年会, 札幌, 1996年8月27日 (発表要旨集 p889)

Matsui M, Tamura H, Nagai F, Homma H, Miyawaki A, Mikoshiba K. On the nature of rat hepatic and mouse olfactory sulfotransferases. 3rd International Sulfation Workshop, Drymen, Scotland, September, 22-25, 1996 (Abstract p26)

Tamura H, Miyawaki A, Harada Y, Homma H, Mikoshiba K, Matsui M. On the nature of mouse olfactory sulfotransferases: Their localization, activities and cDNA cloning. 7th North American ISSX Meeting, San Diego, California, USA, October 20-24 (Abstract p437)

阿部芳廣, 庄子知子, 福井始喜恵, 渡辺愛子, 吉岡智子, 西澤秀幸. ジアステレオメリックなホウ酸錯体の形成について. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (講演要旨集 4 p137)

横山祥子, 中沢寛仁, 藤江忠雄. プロスタグランジン A₂ の塩基触媒性異性化反応に関する界面化学的研究. 第48回コロイドおよび界面化学討論会, 札幌, 1995年10月13日 (発表要旨集 p604-605)

藤野美弘, 藤江忠雄, 横山祥子. シクロヘキシルアミン水溶液の界面特性. 第48回コロイドおよび界面化学討論会, 札幌, 1995年10月13日 (発表要旨集 p636-637)

横山祥子, 宮村陽子, 藤江忠雄. 2-, 3-, 4-メチルピリジン水溶液の界面特性. 第34回油化学討論会, 名古屋, 1995年10月20日 (発表要旨集 p115)

田端一恵, 島井厚子, 余語敬子, 米津亜希子, 金子明子, 藤江忠雄, 平井利志, 佐久間一郎, 福井康裕, 高井信治. 光ファイバーを用いた化学センサに関する研究. 第39回日本薬学会関東支部大会, 東京, 1995年10月21日 (発表要旨集 p55)

金子明子, 天野富美, 塚本弘子, 林 豊子, 田端一恵, 藤江忠雄, 高井信治. イオントフォレシスに関する基礎的研究. 第39回日本薬学会関東支部大会, 東京, 1995年10月21日 (発表要旨集 p46)

林 豊子, 天野富美, 塚本弘子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治. イオントフォレシスを応用する生体液成分の認識. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p16)

塚本弘子, 天野富美, 林 豊子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治. イオントフォレシスに適用可能な薬物の検討. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p17)

島井厚子, 余語敬子, 米津亜希子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 平井利志, 佐久間一郎, 福井康裕, 高井信治. アセチルセルロースを機能性膜とする金属認識センサ. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p21)

余語敬子, 島井厚子, 米津亜希子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 平井利志, 佐久間一郎, 福井康裕, 利根川雅美, 山下順三, 高井信治. キトサンを用いた機能性膜の検討. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p22)

米津亜希子, 島井厚子, 余語敬子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 平井利志, 佐久間一郎, 福井康裕, 高井信治. 共重合体を機能性膜に用いた光ファイバーの研究. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p23)

楠野純子, 高田紀子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治. 酵素標識固相免疫測定法を用いた薬物検出. 第11回ライフサポート学会大会, 埼玉, 1995年11月18日 (発表要旨集 p24)

田端一恵, 島井厚子, 余語敬子, 米津亜希子, 金子明子, 藤江忠雄, 平井利志, 佐久間一郎, 福井康裕, 高井信治. 機能性膜を用いた金属イオン認識センサ. 日本薬学会第116年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 4 p120)

No. 41 (1996)

高井信治, 天野富美, 塚本弘子, 林 豊子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 松川明博, 鹿間達雄. 逆イオントフォーシスに関する基礎的研究. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 4 p120)

横堀貴子, 吉山友二, 中沢寛仁, 八木知子, 金子明子, 菅家甫子, 藤江忠雄, 影山 茂. 電気化学検出 HPLC 法によるメトフォルミン血中濃度測定法に関する研究. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月27日 (発表要旨集 4 p242)

中澤寛仁, 藤江忠雄, 横山祥子. アラキドン酸によるプロスタグランジン E2 の安定化. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月29日 (発表要旨集 4 p100)

田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 佐久間一郎, 福井康裕, 高井信治. キトサンを機能性膜とする金属認識センサ. 第71回日本医科器械学会大会, 福岡, 1996年5月23日 (発表要旨集 p56)

高井信治, 藤江忠雄, 金子明子, 田端一恵, 佐久間一郎, 福井康裕. 光ファイバーセンサを用いた溶液中のイオンの認識. 第57回分析化学討論会, 愛媛, 1996年5月25日 (発表要旨集 p183)

高井信治, 佐久間一郎, 福井康裕, 田端一恵, 藤江忠雄, 金子明子. 光ファイバーセンサに関する基礎的研究. 日本海水学会第47年会研究技術発表会, 東京, 1996年6月5日 (発表要旨集 p11)

田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治, 真重文子. 逆イオントフォーシスによる生体液の抽出. 第6回臨床化学会関東支部学術総会, 東京, 1996年6月15日 (発表要旨集 p11)

田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治, 佐久間一郎, 福井康裕. 光ファイバーセンサに関する基礎的研究. 第6回臨床化学会関東支部学術総会, 東京, 1996年6月15日 (発表要旨集 p12)

藤野美弘, 藤江忠雄, 横山祥子. 塩酸ジブカイン-ヘプタエチレングリコールドデシルエーテル混合ミセルの表面電位. 日本化学会1996年夏季研究発表会, 旭川, 1996年7月26日 (発表要旨集 p102)

高井信治, 高橋重幸, 松川明博, 鹿間達雄, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 佐久間一郎, 福井康裕. 機能性膜を用いる光ファイバーセンサ. 日本分析化学会第45年会, 仙台, 1996年9月19日 (発表要旨集 p51)

横山祥子, 藤江忠雄. プロスタグランジン E2 の連続的分解反応に関する界面化学的研究. 第27回化学関係学協会支部連合秋季大会, 名古屋, 1996年10月1日 (発表要旨集 p7)

高井信治, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 鹿間達雄, 高橋重幸, 松川明博. 逆イオントフォーリスに関する研究. 日本食品衛生学会第72回学術講演会, 岡山, 1996年10月3日 (発表要旨集 p83)

並河真希, 渋谷朋子, 遠山諭子, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 高井信治. イオントフォーリスを用いた生体液成分等の抽出. 第12回ライフサポート学会大会, 札幌, 1996年12月12日 (発表要旨集 p84)

高井信治, 田端一恵, 金子明子, 藤江忠雄, 鹿間達雄, 高橋重幸, 佐久間一郎, 福井康裕. 光ファイバーセンサに関する研究. 第12回ライフサポート学会大会, 札幌, 1996年12月12日 (発表要旨集 p83)

大友まさ恵, 緒方正裕, 橋詰 緑, 下遠野久美子, 遠藤豊成, 浦野四郎. Magnolol 類縁体における脂質過酸化の防御. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 2 p259)

橋詰 緑, 下遠野久美子, 遠藤豊成. Antibiotic K-41 の変換 (8). 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月29日 (発表要旨集 3 p225)

縄 香, 金子美智子, 山田正子, 下遠野久美子, 遠藤豊成. *Streptomyces griseochromogenes* の生産する cytosine deaminase について. 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 3 p222)

下遠野久美子, 平石ゆかり, 三輪育子, 黒田智亜紀, 三浦由美子, 遠藤豊成. *Bacillus brevis* の Edeine B1 変換酵素について (3). 日本薬学会第 116 年会, 金沢, 1996年3月28日 (発表要旨集 3 p224)

緒方正裕, 大友まさ恵, 橋詰 緑, 下遠野久美子, 遠藤豊成, 浦野四郎. フェノール性化合物とビタミン E の脂質過酸化に対する防御の比較. 第7回ビタミン E 学会, 静岡, 1995年12月10日 (発表要旨集 p25)

Ogata M, Ohtomo M, Hoshi M, Shimotohno K, Urano S, Endo T. Antioxidant activities of magnolol and related phenolic compounds. 8th Biennial Meeting International Society for Free Radical Research, Barcelona, Spain, October 2 and 3, 1996 (Abstract p144)

竹鼻 眞. シンポジウムオーガナイザー「透明と不透明の世界」. 第22回水晶体研究会, 熱海, 1996年1月19日 (要旨集 p5)

福富純也, 竹鼻 眞, 小林静子, 朱宮正剛, 小木曾学, 河本道次. SCR系ラット水晶体の混濁とMIP26Kとの関係. 第22回水晶体研究会, 熱海, 1996年1月20日 (要旨集 p39)

猪股光司, 野村晃司, 川島誠一, 西道隆臣, 竹鼻 眞, 朱宮正剛. SCR水晶体におけるカルパイン依存性の蛋白質分解と蛋白質不溶化. 第22回水晶体研究会, 熱海, 1996年1月20日 (要旨集 p43)

田中 操, 竹鼻 眞, 小林静子. 皮膚における紫外線B波照射とp53誘導の役割. 第116年会日本薬学会, 金沢, 1996年3月29日 (要旨集 3 p152)

野崎潤一, 坂本美奈子, 竹鼻 眞, 小林静子, 遠山千春. UVB照射によるsmall heat shock proteinの誘導. 第116年会日本薬学会, 金沢, 1996年3月29日 (要旨集 3 p153)

大幡里絵, 一柳圭一, 竹鼻 眞, 小林静子. 紫外線が水晶体上皮細胞におよぼす傷害に関する検討. 第116年会日本薬学会, 金沢, 1996年3月29日 (要旨集 3 p153)

庄子英一, 竹鼻 眞, 小林静子, 小原喜隆. ヒト白内障混濁部位と水晶体上皮細胞DNAの傷害との関係. 第35回日本白内障学会, 名古屋, 1996年4月12日 (要旨集 p160)

坂本美奈子, 野崎潤一, 竹鼻 眞, 小林静子. 紫外線照射による低分子熱ショックタンパクの誘導とその細胞内局在性. 第18回日本光医学・光生物学会, 前橋, 1996年7月28日 (要旨集 p25)

田中 操, 竹鼻 眞, 小林静子. 紫外線B波照射により形成されたマウス皮膚がんでのp53遺伝子の突然変異. 第18回日本光医学・光生物学会, 前橋, 1996年7月28日 (要旨集 p41)

坂本美奈子, 野崎潤一, 竹鼻 眞, 小林静子. 紫外線照射ストレスによる低分子熱ショックタンパク質の誘導. 第69回日本生化学会, 札幌, 1996年8月27日 (要旨集 p840)

児玉直美, 鈴木純子, **小林静子**, 遠山千春. ラット精巢中におけるメタロチオネイン 1 および 2 の同定. 第69回日本生化学会, 札幌, 1996年8月27日 (要旨集 p889)

田中 操, **竹鼻 眞**, **小林静子**. 紫外線B波照射により発症した皮膚扁平上皮癌における p53 遺伝子の突然変異. 第69回日本生化学会, 札幌, 1996年8月27日 (要旨集 p1214)

Fujii N, Momose Y, **Takehana M**. The racemization of the Asp-151 residue in aA-Crystallin is induced by ultraviolet B irradiation. XII International Congress of Eye Research, Yokohama, Japan, Sep. 30. 1996 (Abstract p3)

Shoji E, **Takehana M**, **Kobayashi S**, Obara Y. DNA strand break of lens epithelial cells due to UV B irradiation. XII International Congress of Eye Research, Yokohama, Japan, Oct. 3. 1996 (Abstract p184)

Takehana M, Reinach P. Symposium organizer "ion transport and ion channels". XII International Congress of Eye Research, Yokohama, Japan, Oct. 3. 1996 (Abstract p177-179)

神野透人, 埴岡伸光, 西村哲治, 安藤正典, **西川佐和子**, **与田玲子**. イソプロチオランの消毒副生成であるクロロマロン酸ジイソプロピルの肝細胞毒性. 第116年会日本薬学会, 金沢, 1996年3月29日 (発表要旨集 3 p202)

Yamamoto M, Ito T, Yazawa Y, Ikagami T, Sato Y, **Yoda R**, Maeda M. A novel enhanced chemiluminescent enzyme immunoassay using glucose-oxidase as a label enzyme. 7th International symposium on pharmaceutical and biomedical analysis (PBA'96), Osaka, August 21, 1996 (Abstract p95)

保坂まひな, 荒川秀俊, 前田昌子, **与田玲子**. ルシゲニン化学発光へのチオ尿素誘導体の影響. 日本分析化学会第45年会, 仙台, 1996年9月21日 (発表要旨集 p42)

福島紀子. 社会薬学研究室での実践教育の試み. 日本薬学会 114 年会, 金沢, 1996年3月 (発表要旨集 4 p357)

福島紀子, **石倉玲子**, **石井典子**, **松井道夫**. 共立薬科大学の卒後教育 (第1報) 通信講座の実情と今後の展望. 日本薬学会 114 年会, 金沢, 1996年3月 (発表要旨集 4 p356)

No. 41 (1996)

松本佳代子, 福島紀子, 上間陽子, 今野由美子, 平野尚子, 直井華子, 坂井尚子. オフィス街における医薬分業—かかりつけ薬局のあり方—. 日本薬学会 114 年会, 金沢, 1996年3月 (発表要旨集 4 p316)

坂井尚子, 福島紀子, 松本佳代子. ホームヘルパーが経験した薬に関する問題. 日本薬学会 114 年会, 金沢, 1996年3月 (発表要旨集 4 p317)

松本佳代子, 福島紀子. 在宅医療と医療廃棄物. 第15回社会薬学研究会, 札幌, 1996年9月 (発表要旨集 p38)

坂井尚子, 福島紀子, 松本佳代子. ホームヘルパーが経験した薬に関する問題 (その2). 第15回社会薬学研究会, 札幌, 1996年9月 (発表要旨集 p39)

坂井尚子, 福島紀子, 松本佳代子. 薬に関する介護の実態調査. 第29回日本薬剤師会学術大会, 長崎, 1996年11月4日 (発表要旨集 p302)

松本佳代子, 福島紀子, 坂井尚子. 利根川流域の実態と学校薬剤師の役割. 第29回日本薬剤師会学術大会, 長崎, 1996年11月4日 (発表要旨集 p331)